

前応用力学委員会委員長 田村 武先生のご逝去を悼む

田村 武先生におかれましては、病気療養中のところ、去る平成 22 年 6 月 30 日ご逝去されました（享年 61 歳）。

先生は、昭和 46 年京都大学工学部土木工学科をご卒業後、同大学院修士課程を経て、昭和 48 年京都大学工学部助手にご就任され、講師、助教授を経られて、平成 8 年同大学院工学研究科教授に昇任されました。

先生は、応用力学を土木工学の実問題に展開することに先駆的な役割を果たされ、青函トンネルをはじめとする、わが国を代表する様々な建設プロジェクトに関わってこられ、平成 17 年度には土木学会論文賞を受賞されました。土木学会においては、理事などの要職を歴任されると共に、応用力学委員会の発足に中心的な役割を果たされ、平成 18 年に応用力学委員会委員長にご就任されました。また、土木学会が主幹事となった平成 21 年度の理論応用力学講演会を実行委員長として指揮され成功に導かれました。委員長在任中には、Wikipedia プロジェクト（現 Wikipedia 小委員会）を立ち上げられ、委員長をご退任後も会合や合宿には毎回参加され若手委員や大学院生を激励していただきました。委員長をご退任された仙台で開催されたシンポジウムの懇親会にて、「応用力学と委員会を益々盛り上げてください」と、お言葉をいただいたことを思い出します。

先生のご遺志を受け継ぐとともに、ご功績とお人柄を偲び、生前のご指導に感謝の意を表し、衷心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。

土木学会応用力学委員会
委員長 樫山和男